

LSM710 で撮影した画像の処理 (ImageJ) (2015.9.25 版)

画像処理ソフト ImageJ は以下の URL からダウンロードできます(無料)

<http://imagej.nih.gov/ij/>

ファイルは圧縮されているので解凍してからご使用ください

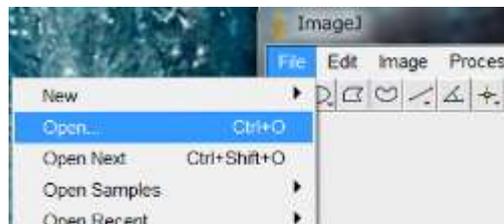
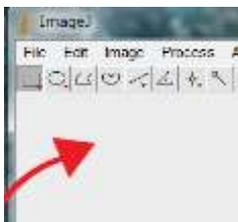
1. ImageJ を起動する



←ゲノム研究分野では LSM710、IPA、GeneSpring の各 PC のデスクトップに ImageJ のショートカットアイコンが作成されています

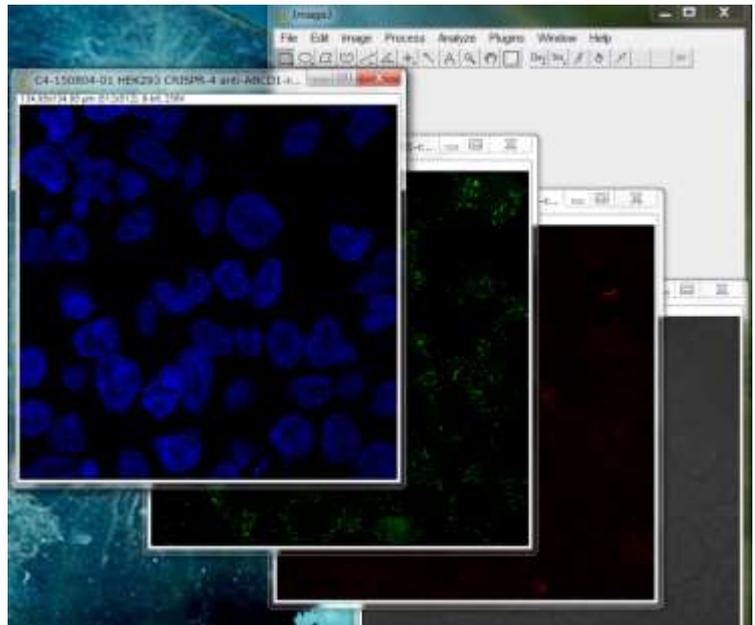
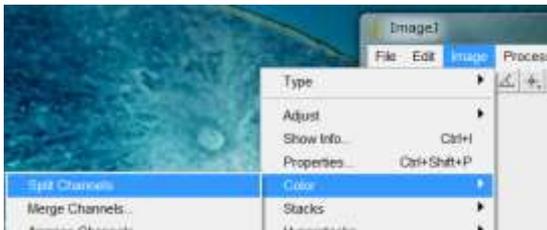
2. 顕微鏡で撮影したファイル(.lsm)を ImageJ で開く

ファイルを ImageJ のウィンドウにドラッグする または 「File」 から開く



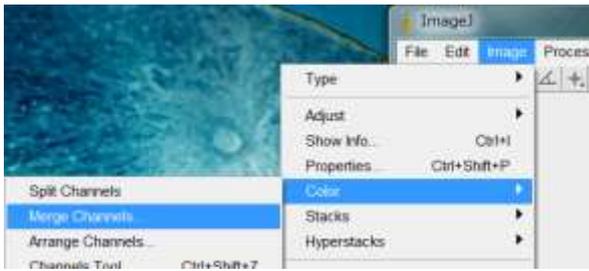
ファイルをウィンドウにドラッグして開く または 「File」 → 「Open」 でファイルを選択して開く

3. 「Image」 → 「Color」 → 「Split Channels」で画像を色ごとに分解する

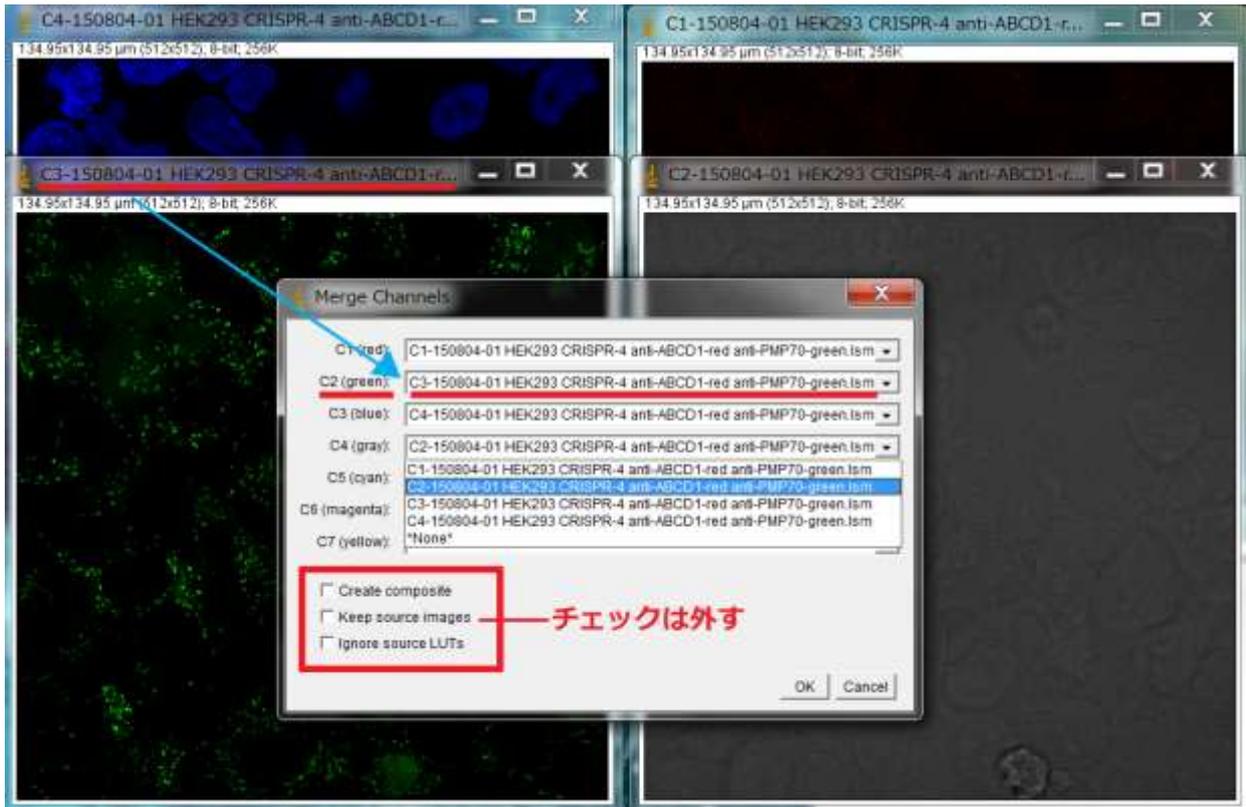


※透過光の画像(真っ白な画像)は使用しないのであった場合は閉じておく

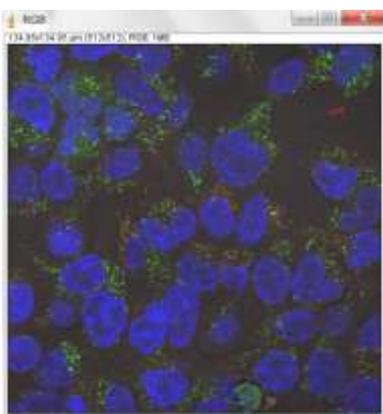
4. 「Image」 → 「Color」 → 「Merge Channels」を選択する



5. 新たに開かれた「Merge Channels」のウィンドウで「各色の画像にそれぞれついている名前」と「ドロップダウンリストの中の名前」を選択し対応させる。「OK」をクリックすると写真が再合成される。

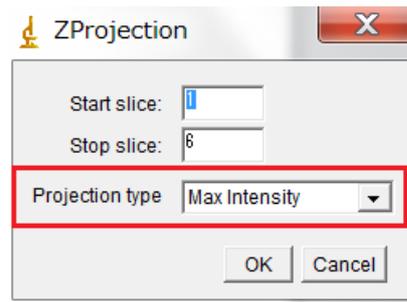
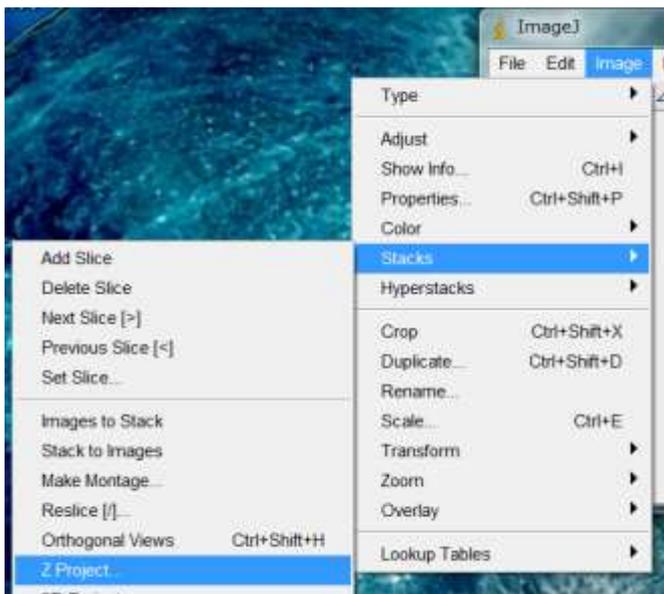


例・・・緑色の写真についている名前は C3-150804-01~なので、「C2(green)」のドロップダウンリストの中から C3-150804-01~を選択する（写真のない色は「*None*」を選択する）



← OK をクリックすると分離された画像が再合成される

6. Image → Stacs → Z Project...を選択し、「Projection type」は「Max Intensity」を選んで OK をクリックすると、すべての画像が 1 枚に合成される



- ・「Start slice:」と「Stop slice:」の値はそのまま
- ・「Projection type」は「Max Intensity」に変更する



※顕微鏡観察時に Z-Stack 画像を取得していない場合は Stac required のメッセージが出ます

7. 1 枚に合成された画像のウィンドウが選択された状態で File → Save As → TIFF を選択し、保存先のフォルダを選んでその中に保存する